園部共同作業所だより

園部共同作業所発行
〒６２２－００１１
京都府南丹市園部町上木崎町入道３２
電話０７７１－６２－３２４９
ＦＡＸ０７７１－６３－２９４１

ＮＯ.１１７

うどん県への一泊旅行

所長　杉山　泰佑

令和五年度最後のレクリエーション一泊旅行が三月十五日～十六日に実施されました。今回の旅行先はうどんと金比羅山で有名な香川県に決まりました。

コロナ禍で自粛をしていた一泊旅行も去年度から再開し、今年度も計画をしたのですが、見積もりを立てたところ物価高騰の波を受けなんと、去年の二.五倍～二倍どころか予算が膨れ上がりました。

公益財団法人公益推進協会「東邦電気産業基金」様より助成金を受けられる運びとなりましたが、予算オーバーで悩んでいたところ、実施できることになりました。

例年通り九時に園部大橋を亀岡小型バス様の貸し切りバスで出発です。

皆さんの日ごろの行いがよかったのか、雲一つない快晴で、三月とは思えないほど暖かい気候で、てきた上着を脱ぎながら出発です。

休憩をはさみながら四国に到着し、お待ちかねの昼食です。海辺の海産物食堂で定食をいただきます。

定食の中に大きなお椀があったので一同「この大きさはうどんやな」と期待しながら蓋を開けると、なんと、みそ汁でした。肩透かしをくらいながらも美味しくいただき、午後からの見学の場「善通寺」に到着。

暖かな気候の影響で既に桜の花が七分ほど咲いており、桜の香りに包まれお参りをさせていただき、皆さんも気持ちが洗われたのではないでしょうか？

その後、ホテルに到着し、各部屋に分かれ、くつろぎ、温泉に入り、お待ちかねの宴会です。この時ばかりは無礼講でお酒を飲みたい方はビールで乾杯、コロナ禍で出来ない時もあったカラオケも解禁されていましたので、普段は歌わない方もこの日は初披露、自称作業所のSMAPたち五人も登場し、大盛り上がりで宴会も終わり、その後にお土産を買って就寝です。

二日目も朝から快晴です。

行先は二〇二〇年に出来立ての四国水族館に向かいます。

カワウソやアシカやクラゲなど多種多様な生き物を見学、イルカショーは時間の都合で見学できなかったが、お土産も色々満喫されたと思います。

喫買きわまれて、皆さんでしたが、帰路に着く前に昼食です。

お待ちかねの讃岐うどんですが、朝食をホテルのバイキングでお腹一杯食べさせていただきました。

流石の讃岐うどん、一名を除き完食でした。

中にはおかわりを頼む強者もいるほどでした。

大小さまざまなトラブルはあったものの、お腹も一杯・お土産も一杯・思い出も一杯の楽しい一泊旅行になったと思います。

令和六年度も開催できればと考えておりますが、予算編成に頭を悩ませるところです。

この度は、公益財団法人公益推進協会「東邦電気産業基金」様あるとのことでありました。

二人のメンバーさんが、退所されました「送別会の思い出」

塩内文代
花田面

長年通所されていました、樋口さんは、体調、健康面においても、作業所での日常が難しくなるなど、作業所の様々な事情により、退所を余儀なくされ、他の施設に行かれる事になり、急ではあるが、二月二九日に、送別会を行うことになりました。

送別会は、所長をはじめ、メンバー、職員から健康への気遣い、励ましと長年の通所を労う言葉をかけました。

そしてメンバーさんのカラオケで、賑わっている内に、まるで花田さんからみんなへのメッセージの様な「あの鐘を鳴らすのはあなた」をゆっくり朗読されたことは、思い出の一つになりました。

その後、記念品、花束贈呈、記念写真とで、短い時間でしたが、楽しいひとときを過ごすことができました。

二四年通所されていた花田さんは、紳士的で、いつも礼儀正しく遠慮がちに休憩室に座られていたのを思い出します。

無口な花田さんは、さりげなく、誰にでも優しい気遣いをされる方でした。

レクレーションや他の行事にも積極的に参加され、特に新春ボーリング大会では、マイボウルを持参し、プレー中は最近でも年齢を感じさせないほどの雄姿でした。

作業所の内では、声をかけるといつも「ええーそうですね」と軽く笑顔で返される言葉が印象に残っています。

樋口さんは、一六年間通所されていて、メンバーさんや職員にきちんと挨拶をし、いつも穏やかな表情で接しておられました。

レクリエーション行事は、毎回参加を楽しみにしておられ、一泊旅行に参加の時には、メンバー同志買い物（お土産）や、見学されたりと、良い思い出ができたのではと思います。又お孫さんの話をされる時は、本当に嬉しそうでした。

令和元年のクリスマス会では、二人で司会をされる等、不安だらけの頑張り、時間通りに言いながら進行されたことも忘れない思い出となりました。

いつの三月からそれぞれの施設で通所年数に長短はあるものの、退所されるメンバーが、共に思い出しつつ、新環境で大変しょうが、慣れない出会いを大切にしながら、どうか健康に気を付けて、元気に毎日を過ごされることを、メンバー、職員共々願っています。

行事・レクリエーション

一月五日　ぜんざいパーティー
二月二十二日　ゲーム大会
三月八日　避難訓練
三月十五、十六日　みーちゃんカレー
四月十二日　一泊旅行（香川県）
ンドゴルフ　お花見、グラウ
（日吉ふれあい広場）

例年二月頃に福知山のボウリング場へ出掛けて実施のボウリング大会に代えて、

今年は所長の発案で、作業場を会場にレクレーションの開催となりました。

当日は参加のメンバーさん十二人と三班を編成とし、班ごとに時間を決めて六種類のゲームを体験しながら得点数で順位を競うこととなりました。

九時から十時十五分までボウリング、輪投げ、マジックナインを行います。ボウリングは球やピンがプラスチック（？）製で球が軽く、投げるのにコツが要ります。その上床面のちょっとした傾斜にもボールの行方が左右され、簡単そうに見えてなかなかピンに当たりません。皆な四苦八苦しながらの投球です。それでも何人かはストライクが出て嬉しそう。

マジックナインは的に書かれた高い点数を狙ってボールを当てます。この種目は点数を稼ぎどきです。輪投げはおなじみなのですが、行ってみると思うように点数が入りません。

休憩の後、お昼前まで、シャッフルゴルフ、魚釣り、羽根つきゲームを行います。

シャッフルゴルフは、多面体の球を使って行うため打っても思うように点数の高い場所に止まってくれません。皆さん苦戦を強いられてました。魚釣りは釣り上げるときのコツを早くつかんだ人が有利だったようです。羽根つきゲームはマジックナインと同様点数の稼ぎどきとなったようです。

午前の部が終わり昼食はかやくご飯とかき卵汁白あえ、デザートまで作っていただき大満足、午後は炊事場で火災が発生したとの想定で避難訓練の実施、いつ起こるかともわからない災害に備えることは大切です。判ってはいるのですが、なかなか行動ができないことを反省。

亀岡のガレリアでのカラオケ大会にて

来る一月一九日金曜日の日に、杉山さんの車で、僕らをふくめて、亀岡のガレリアに、二部の部として、久しぶりに、声を出して歌って来ました。ガレリアに行ったのも、七かは八年になりますね。あゆみ工房さんから、和太鼓をたたきに行ったのが、きっかけになりましたねん。それからこっちは、コロナも続いたので、行かなかったですわ。

午前の部が終わり昼食はかやくご飯とかき卵汁白あえ、デザートまで作っていただき大満足、午後は炊事場で火災が発生したとの想定で避難訓練の実施、いつ起こるかともわからない災害に備えることは大切です。なかなか行動ができないことを反省。

最後に全員でビンゴ大会、上位四名まで商品二つづつ選ぶことが出来あとは一人一種類選ぶ方法で実施、それぞれ商品を手に嬉しそう。

今回のゲーム成績は一位三〇八点で山高さん、二位三〇一点で大槻さん、二位一九六点で前原さんでした。

全日程は二時三十分頃終了し、メンバーさんからは「楽しかった」と言っていただいました。初めて作業所の感想をいただきました。天候や気温に左右されず参加者の年齢や体力面からも無理のないところで実施という面においてもよかったと皆さんが言っ

たので「楽しかった！」と言ったのではないかと思います。何よりたんだけたので。

行く当日、本当はみんなの前では、恥ずかしかったけど、自分が太鼓を一人でたたいとるんやどと言う、気持ちで舞台に立つと、ちょうど正面の上にスポットライトで、お客さんの顔が見えにくいなるのが、特徴かな、笑い。ライトがなかったとしたら、私、上がってしまって、歌は歌ってないなあ。太鼓をたたいとる気分、それと、園部の作業所で、一番最初に、歌われたのが高屋さんでしたね。それで高屋さんが帰られた時に、高屋さん、上がったかあと聞いたら、そら、上がるでと言うてやったで、その時、僕も上がるやろうなと、思いました。

そして僕らが五人づつ、呼ばれた時に、杉山さんが審査員として、席にすわったはった。横裏から、歩いていた時に、杉山さんが、こちらを見て、ニヤーと笑って。杉山さん、大槻さん、本間に、よう歌うやろうかと、僕は感じました。

そして、紙を見ていたら、僕が一番最後やし、実際に、緊張をしました。それと、僕感じたのは、男の人でも、女の人でも、声に味を持っていると思っています。そうでないと、みんなの前で歌えないと思いますわ。杉山さん、まだ昭和の時代に、私が一五歳で、京都に勤めた二年後に、勤めていた親方といっしょに、詩吟大会がありまして、人に詩吟を教えられる免許をもらいました。そのぐらいやから、毎週日曜日の昼に、ＮＨＫののど自慢がありますね。その中から、今週のチャンピオンは、司会

が言うと、僕八〇パーセントは、当てますよ。でも、途中から、テレビを見てなかったら、わからないけどね。

そんな話は別にして、ガレリアの話にもどりますけどね、あれ、男の人が歌った、天の風に乗っての、歌った人が、一番良かったです。声が、のびてたです。もう人方、蛍光の服を着た人も、良かったです。僕も、織江の歌を、歌いましたけども、キイが高いので、困りました。

でも、何とか歌ったので良かったです。また来年も催しがあれば行きたいです。

一月十九日コンサート

尾藤　不二夫

先日も天気は曇りでした。本当に初めてのコンサートでテレビのみたいなものでした。

昼食は早めにいただきました。そして休憩もしました。

午後自分の歌のカラオケは本当にでばんまでは、いつなのか早めに紙でみて本当によかったでした。

寄贈品

一月十五日　あたご電子工業所様　お菓子
二月二十二日　兒島　美由紀様　じゃがいも
二月二十九日　樋口　明子様　お菓子
三月六日　兒島　美由紀様　じゃがいも
四月二十二日　山田　多佳子様　いちご
四月二十三日　大槻　益子様　ジュース
四月二十五日　西垣　加代子様・田中　君枝様　お菓子
四月三十日　京家連　保田様　お菓子
四月三十日　福知山あおば会　高橋香壽美様　お菓子

編集後記

時間の過ぎゆくのは早いと言えば早いものです。このたび、二名の方が、園部共同作業所を退所されることとなりました。二四年、一六年、色んな事があったような、あっという間に過ぎてしまったような、とても感慨深いものがあります。新しい施設でもお元気で過ごしていただきたいと思います。

皆様、また、暑い夏がすぐそこに来ているようです。体調に気をつけながら、頑張って行きましょう。